

大连理工大学二〇〇三年硕士生入学考试

第1页

《专业基础日语》试题

共17页

注: 试题必须注明题号答在答题纸上, 否则试卷作废!

I. 文字と語彙 (40点)

一、下の文の _____ のある漢字の読み方、または文の _____ に入れる外来語はそれぞれ選択肢A、B、C、Dの中から最も適切なものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。(1×15=15点)

(1) 山田君にまたも欺かれた。

A. おちつ

B. おも

C. あざむ

D. そむ

(2) スカートの丈を直す。

A. たけ

B. たて

C. ただ

D. たか

(3) 夕食の献立を考える。

A. こうりつ

B. けんりつ

C. こんたて

D. こんだて

(4) 朝から気分が爽やかだ。

A. さわ

B. おだ

C. すこ

D. なご

(5) 専ら仕事に精を出す。

A. もっぱ

B. たい

C. のは

D. ことさ

(6) 山本さんの感覚は鋭い。

A. によ

B. すると

C. ころよ

D. しぶ

(7) 先輩の意見に妥協する。

A. とつきよく

B. ときょう

C. だつきよく

D. だきょう

(8) 問屋の隣に西本屋がある。

A. といおく

B. もんおく

C. もんや

D. とんや

(9) 健康な身心を培う。

A. やしな

B. つちか

C. うしな

D. はら

(10) 風呂敷で包む。

A. ふろしき

B. ふろうじき

C. ふうろしき

D. ふうろじき

- (11) 落語は漫才ほど人気がないが、まだまだ根強い_____がいる。
A. ワープロ B. ファン C. タイム D. ファクス
- (12) 食事の_____について話した。
A. マナー B. マフラー C. マスク D. マンション
- (13) 電車の_____はお年寄りや体の不自由な人のための席のことです。
A. ビザ B. デザート
C. コンビニエンス D. シルバーシート
- (14) 今日、花岡さんのかわりに村田さんが関東新聞の_____に行きました。
A. デザイン B. リハーサル C. ストロー D. インタビュー
- (15) 彼女はいつも変わった_____の服を着る。
A. デザイン B. リハーサル C. ストロー D. インタビュー

二、下の文の下線をつけた言葉の二重線のある部分は、どのような漢字を書くか、答えは選択肢 A、B、C、Dの中から同じ漢字が使われるものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。(1×10=10 点)

- (1) ていきあつが雨を降らす。
A. ていきバスが来る。 B. 朝夕の温度をそくていする。
C. 利用許可証をていしする。 D. ていけつあつで気分がわるい。
- (2) 会社のけいえいが行きづまった。
A. 論文は雑誌にけいさいされた。 B. 東京をけいゆして国に帰る。
C. 円高でふけいきになった。 D. 商社と売買のけいやくを結んだ。
- (3) 故郷からの友人をしょうたいする。
A. 喜びをたいどで表す。 B. 彼はたいしつが弱い。
C. きたいに反して行動する。 D. にんたいにも限度がある。
- (4) 月のいんりょくは地球より小さい。
A. 秋の旅行に生徒をいんそつする。
B. その老人は病気でにゅういんした。
C. 本のいんさつがうすい上に、表紙がやぶれている。
D. 事件のしんいんはほかにある。
- (5) 必要などうぐを整えておく。
A. 男女びょうどうの世となる。 B. じどう心理学を専攻する。
C. どうろの横断に注意する。 D. 二つの意見のいどうを考える。

(6) 大学にゆうしをめざして勉強する。

A. 一国をしはいする。

B. 催し物のしかいを頼まれる。

C. 草花のしゅじを買い求める。

D. しけんに落ちて留年となった。

(7) かんけいのないことに深入りする。

A. 昔からのしゅうかんがなくなる。

B. かんさい大地震を知らない人はいない。

C. 赤痢のかんじゃを隔離する。

D. かんじゃの気持を表す。

(8) 各種の研究をそうごうする。

A. 学校生活のそうけっさんをする。

B. ゆそう車に荷物を積む。

C. 都市のこうそう建築が進む。

D. 模倣しないでそうぞうの力を養う。

(9) じゅうような問題を討議する。

A. 交通がじゅうたいする。

B. 物質のひじゅうをはかってみよう。

C. じゅうたく事情が悪い。

D. じゅうおうに活躍する。

(10) 事件はしょうげきを与えた。

A. 以下しょうりやくする。

B. しょうがい物を取り除く。

C. 友人をしょうかいする。

D. トラックにしょうとつして事故を起した。

三、下の文の _____ に入れる言葉は選択肢 A、B、C、D の中から最も適切なものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。(1×15=15 点)

(1) 今度の仕事は山川さんと一緒だから、_____ に乗った気分ですよ。

A. 飛行機

B. 電車

C. 新幹線

D. 大船

(2) 「中川さんは気の _____ 人だね。」

「まったくだ。来年の夏休みの計画をもう立てているよ。」

A. 早い

B. 遅い

C. 重い

D. 軽い

(3) このアイディアは _____ だから、別のものにしよう。

A. 一夜酒

B. 一夜漬

C. 二番作

D. 二番煎じ

(4) ジョンさんの日本語には舌を _____ よ。

A. 出した

B. ごまかした

C. 卷いた

D. ふるった

- (5) _____遊びに来てくださいね。
A. 二度 B. 再度 C. また D. ふたたび
- (6) 来月の_____ごろには仕事が終わるだろう。
A. なかば B. 半分 C. 途中 D. 最中
- (7) 当病院の_____時間は次のように決まっております。
A. 対面 B. 面接 C. 面会 D. 会見
- (8) 「夏の研修会はとても有意義だったと思うよ。」「ああ、私も_____だね。」
A. 直感 B. 実感 C. 共感 D. 同感
- (9) そうじをする時は、ほこりが_____ので窓を開けてください。
A. のぼる B. とぶ C. たつ D. ちる
- (10) うちの家内は、すぐ焼もちを_____んですよ。
A. 上げる B. 焼く C. 役立つ D. 戻す
- (11) 義理と人情のジレンマという苦しい趨勢に_____を任せる。
A. 頭 B. 胸 C. 体 D. 身
- (12) このあいだ山田さんとテニスをしたけれど、_____が立たなかった。
A. 歯 B. 耳 C. 目 D. 葉
- (13) クラスのだれもが彼には_____置いているんだって。
A. 一休み B. 一群れ C. 一役 D. 一目
- (14) この寺は織田信長が死んだ場所として歴史に_____。
A. 有名だ B. 名高い C. 評判だ D. なたたる
- (15) 父は_____が悪く、朝からおこってばかりいる。
A. 気分 B. 気持ち C. 機嫌 D. 気心

Ⅱ. 文法と構文 (1×30=30 点)

下の文の_____に入れる言葉は選択肢 A、B、C、Dの中から最も適切なものを一つ選び、解答用紙のその記号に印をつけなさい。

- (1) 机の下に何_____落ちていますよ。
A. やら B. だの C. とか D. まで

- (2) すっかり準備ができて、旅行に出かける _____ になっています。
A. くらい B. ばかり C. か D. きり
- (3) マリア先生は男にはやさしい _____、女にはとても厳しい。
A. から B. ので C. くせに D. し
- (4) 試験もある _____、今日はどこへも出かけずに勉強するつもりです。
A. と B. ものの C. し D. のに
- (5) 旅行社に問い合わせ _____、どこのホテルも、もういっぱいだというこ
とでした。
A. みたところ B. みたところで C. みながら D. みて
- (6) 大学時代、スキー部だったの。
_____ そんなに上手なのね。他の人とすべり方が違うと思ったわ。」
A. ですから B. だから C. したがって D. そして
- (7) 「大阪は人が多いですね。」
「ええ、_____ 東京はもっとも多いんじゃないかしら。」
A. だが B. だから C. でも D. だって
- (8) 「どうして土曜日のパーティーに行かないの。」
「パーティーはきらいなんです。_____、知っている人は誰も行かないみた
いだし。」
A. さらに B. それに C. それで D. または
- (9) 「梅田へ行って、映画を見て、食事をして、_____ ディスコに行こうよ。」
「そんなことしたら、終電車に乗れないわよ。」
A. ところで B. すると C. そして D. それから
- (10) 「今日は突然おじゃまして申し訳ございません。」
「いいえ、_____ 何か。」
「実はちょっとお願いしたいことがございまして。」
A. そこへ B. そこで C. それで D. それに
- (11) きらいだ _____、お肉を全然食べないのは体によくない。
A. し B. から C. からといって D. からには
- (12) ずいぶん _____ が、お元気でいらっしゃいましたか。
A. 寒くてございます B. 寒くなっております
C. 寒くなっております D. 寒くなっております

(13) 今回の事件も____、最近、犯罪の犠牲となって命を失う人があとを絶たない。

A.もっともだが

B.のみならず

C.かまわず

D.さることながら

(14) 勉強を忘れて遊び歩くなどということは学生に____行為だ。

A.あるまじき

B.あるまいし

C.ないものでもない

D.ないではおかしい

(15) よごれた部屋をそうじして、体じゅうほこり____になった。

A.ばかり

B.かぎり

C.ずくめ

D.まみれ

(16) このような時、冷静に問題を解決できるのは、彼____ほかにない。

A.にひきかえ

B.をおいて

C.とあいまつて

D.とはいえ

(17) 担当の者が、ご用件を____ので、少々お待ちください。

A.うかがわせてまいります

B.うかがいにみえます

C.うけたまわりにみえます

D.うけたまわりにまいります

(18) 最近、体の調子が良く、何でもおいしく____。

A.めしあがっております

B.あがっております

C.いただいております

D.お食べしております

(19) お買いあげいただいた小社の製品は____でしょうか。

A.お気に召させていただきました

B.お気に召していただきました

C.お気に召させてくださいました

D.お気に召して願いました

(20) ____にまちがいがありましたことを、おわびいたします。

A.貴紙の記事

B.貴紙のお記事

C.弊紙の記事

D.弊紙のお記事

(21) そんなにひどくなるまで我慢するなんて。言ってくれば病院へ連れていってあげた____。

A.わけだ

B.ものだ

C.ものを

D.ほどだ

(22) お留守中に、原田さんという方が____。

A.おみえになりました

B.まいられていらっしゃいました

C.お越しくささいました

D.おいでいただきます

- (23) みなさんの声援____優勝することはできませんでした。本当にありがとうございます。
A.どおりに B.なくして
C.ならでは D.限らず
- (24) 私は甘いものに目がない。おいしそうなケーキを見ると思わず____いられない。
A.とも B.は C.には D.では
- (25) 苦勞する____なしに成功する人もいれば、どんなに苦勞しても失敗する人もいる。
A.の B.こと C.もの D.ところ
- (26) 彼はテレビゲームが大好きでゲーム機の前に____最後、何時間でもやり続ける。
A.すわったの B.すわったが
C.すわるのの D.すわったから
- (27) 社長の息子____、着ているものも違う。高価なものばかりだ。
A.ともすると B.ともなると
C.とはいえ D.といっても
- (28) これは何も____日本のみならず、世界的な問題である。
A.ひとつ B.ひとり C.一国 D.一体
- (29) この競技場は5万人____の客を収容できる。
A.なり B.から C.だけ D.さえ
- (30) あ、ここではタバコはご遠慮____でしょうか。
A.もらいます B.いたしません C.ねがえません D.いただきます

Ⅲ. 読解 (54 点)

次の文を読んで後の問題に答えなさい。

一、(10 点)

お盆の休みで、東京と周辺の都市から約二百五十万人が帰郷したという。これは大変な数だ。全国で、どのくらいになるか。列車が混雑して上野駅では八時間も並んで待った人がいた。(注) 青函連絡船は定員超過だと騒いだ。①お盆って何なのか、と考える。休暇なら何も一時にどっと集中しないで、時差盆休にしたら楽なのに。それ

に新暦に変わって今年で百年だ。なぜ旧盆でなくてはいけないのか。同情もし、不思議がっていたら、反対に、「都会生れの都会育ちにはちょっとわからないだろうな」と、わらわれた。

町も農村も同時に一斉に休む。それが盆なのだ。ばらばらでは盆にならないということだった。親類縁者が顔をそろえて、ご先祖と一緒にごはんを食べる。〔 1 〕八月の旧盆は農閑期だから休める。新しい野菜も実る。七月の新暦の盆では、まだ梅雨は明けず、お盆の感じがしない、という。

お年寄りは、そうだろう。しかし家郷を捨てた若者まで総立ちになって帰るのは、何か。ひとつは盆しか夏休みがとれない職場が多いからだろうし、若者は若者で故郷の盆の安らぎを知っている。町のボウリング場には盆踊りの興奮。同窓会。レジャー盆だ。

くにの母親が三日も前から台所に立って作ってくれたものの味が忘れられない、という友人がいた。帰りに駅まで送ってきて、みそだの、つけものを手渡される。そういうものや気持ちが減びていく時代だからなおのこと、おっちゃんも若者も年に一度わっとばかり、大汗かいて帰るのだろう。

夕空はれて、あきかぜふき、つきかけ落ちて、鈴虫なく、と昔うたった。二百五十万人が出ていって道路がすいた東京で、故郷を知らない都会っ子が、ああか、こうかと故郷の空を想像してみる。

注 青函連絡船〔せいかんれんらくせん〕：青森和函館間の聯絡船

〔問題〕

- (1) 文中の下線①「お盆って何なのか」をより具体的にいうとどのような意味になるか、A～Dの中から一つ選びなさい。
 - A. ふつうよく言う「お盆」とは、元来どのようなものなのか。
 - B. 現代の人間にとって、「お盆」とはどのような意味を持っているのか。
 - C. 盆に帰省する人々は、「お盆」とはどのようなものと心づいているのか。
 - D. 現代人が、「お盆」をすることに、そもそも何か意味があるのだろうか。
- (2) 文中の〔1〕に入れるものをA～Dの中から一つ選びなさい。
 - A. だから
 - B. しかし
 - C. また
 - D. ところが
- (3) 文中の下線②「総立ちになって」には、どのような感じがあるか、A～Dの中から一つ選びなさい。
 - A. わっといっせいに行動を始める感じ。
 - B. だれもかれも例外なくという感じ。
 - C. 何がなんだかわからぬまま動き始める感じ。
 - D. たいそう多数の人間が同じことをする感じ。
- (4) 文中の下線③「そういうもの」はこの場合、特にどのようなものをさしているか、A～Dの中から一つ選びなさい。

- A. 都会にみやげとして持って帰るもの。
- B. 昔からのしきたりどおりのもの。
- C. 作る人の心のこもった、手作りのもの。
- D. 山川や田畑からとった、自然そのままのもの。

(5) 文中の下線④「故郷」はこの場合何をさしているのか、A～Dの中から一つ選びなさい。

- A. 自分が生まれ育った都会の未来の姿。
- B. 最近帰ることを忘れていた自分の故郷。
- C. 都会を遠く離れた、まだ自然が色こく残っている地方。
- D. 現実には存在しないが、もしあれば帰ってみたいと思う想像上の故郷。

二、(10 点)

新聞の相談欄によく贈り物の話題が出ている。結婚や入学のお祝いをももらった場合、お返しをすべきか、もしするとしたら、どの程度の物がよいかというような相談が多い。それに対する答えも一様ではない。回答者によって意見が異なっていたり、時には回答者が断定をさけて、幾つかの意見を紹介したりする場合もある。

昔は人が生まれてから死ぬまで大体同じ土地に住み、土地の習慣〔 1 〕は年長者に聞いていたから、情報の不足はなかったと思われる。新聞に①このような相談が出るのは、人の移動がはげしくなったからであり、また、意見の一致が見られないのは、人生観や価値観の違いも大きくなってきたためであろう。

人〔 2 〕物をもらうのは、本来うれしいものである。贈るほうにとっても、もらった人の喜ぶ顔を想像しながら贈る品を選ぶのは、楽しいことである。しかし、実際には、贈りたくなくても贈る場合や、お返しの心配をしなければならない場合も多い。中元・歳暮・誕生祝いは毎年で、②これに入学・卒業・就職・結婚と加われば、一年じゅう贈り物産業がさかんになるのも当然であろう。

最近はバレンタイン・デーという外来の習慣が広まり始めたが、この時間になると「義理チョコ」ということばが若い人の口にのぼる。「義理」という古くさいことばがチョコと結びついているのは面白い。それにしても、人間はいつになったら、義理から解放されるのであろうか。

〔問題〕

- (1) 文中の〔1〕に入れるものをA～Dの中から一つ選びなさい。
A. として B. について C. によって D. にたいして
- (2) 文中の〔2〕に入れるものをA～Dの中から一つ選びなさい。
A. まで B. へ C. から D. も
- (3) 文中の下線①「このような相談」とは何についての相談か、A～Dの中から一つ選びなさい。
A. 贈物 B. 土地の習慣 C. 人の移動 D. 人生観

るかの自由がほとんど残されていないとき、自尊感情は育ちようがないであろう。

これまでの研究によれば、おとなの介入が大きければ大きいほど、子どもの自尊感情は低く、うまくできるようになろうとする意欲が乏しく、自分で自分を制御することが困難であるという。自尊感情は、幼いときの養育者のあたたかなしつけの態度と関連しているという研究もある。これら研究が示唆するところは、周囲のおとながあたたかく見守り、子どもに任せる部分を大きくすることが、自尊感情が育つうえで最低限必要だ、ということである。

そもそも、おとなの介入によって、成功を体験させることができるのは、人間が生涯において繰り広げる多様な能力や行動のほんのわずかである。⑥ そのほんのわずかのプレゼントを送るために、子ども自身の身律を損ねてはならない。

むろん、⑦ そうするためには、子どもをおとなの「自尊感情」を高めるための道具にせず、おとな自身が自律していなければならぬのだが。

問 1 (①)「自信を持たせたい」と思っているのは誰か。

- 1 筆者 2 大学院生
- 3 教師 4 子ども

問 2 (②)「教育的配慮」とあるが、どのように配慮しているのか。

- 1 子どもが教師の指示に従うように
- 2 食事のマナーを身につけさせるように
- 3 間違った行動をとらせないように
- 4 子どもに自信をつけさせるように

問 3 (③)「言語的矛盾」とあるが、何と何が矛盾しているのか。

- 1 自主的に決めるということと、強制的にさせるということ。
- 2 むずかしいことをさせるということと、自信を持たせるということ。
- 3 大学院生であるということと、現職教員であるということ。
- 4 「やる」ときめることと、「やらない」と決めること。

問 4 (④)「これ」とは、何を指すか。

- 1 矛盾した表現を使うこと

- 2 食事中に話をさせないこと
- 3 子どもに決定をさせること
- 4 むずかしいことをさせること
- 問 5 (⑤)に入る適当な言葉を下から選びなさい。
 - 1 だから 2 しかし
 - 3 つまり 4 そのため
- 問 6 (⑥)「そのほんのわずかのプレゼントを送るために、子ども自身の自律を損ねてはならない」とあるが、ここで、筆者がいたいことは次のうちどれか。
 - 1 大人が子どもから自律するためには、子どもの行動に介入するのはやめたほうがいい。
 - 2 大人が自分自身の満足のために、子どもの行動に介入するのはやめたほうがいい。
 - 3 子どもに成功を体験させるためには、大人が子どもの行動に介入したほうがいい。
 - 4 子どもを自律させるためには、大人が積極的に子どもの行動に介入したほうがいい。
- 問 7 (⑦)「そうする」とは、何を指すか。
 - 1 成功を体験させる
 - 2 大人が介入する
 - 3 子どもにプレゼントを送る
 - 4 子どもの自尊感情を育てる
- 問 8 この文章で筆者が取り上げているテーマとして考えられるものは、次のうちどれか。
 - 1 子どもに対するおとなの関わり方について
 - 2 自尊感情とはどのようなものかについて
 - 3 大人が子どもに教えられることについて
 - 4 自律とはどういう状態かについて
- 問 9 この文章で筆者が一番いたいことだと考えられるものは、次のうちどれか。
 - 1 子どもが自主的に行動するのを干渉しないで見守るべきだ。
 - 2 子どもがより早く目的地に着けるように道を作ってやるべきだ。
 - 3 大人が子どもに対してやれることは何もない。
 - 4 大人が力を貸して子どもの自尊感情を育てるべきだ。

今年もまた、キャンパスを巣立った若者が、社会に第一步を踏み出した。彼らの多くは、社会人になると同時に「①会社人」になる。

不況下の厳しい就職戦線をくぐって入れた会社だけに、喜びもひとしおだろう。しかし、これからの会社での日々に思いをはせると、②内心は不安に違いない。

上司や先輩社員とうまくやっていけるだろうか。社風や仕事が自分の能力や性格に向いているか。人生の大半を過ごすに値する会社だろうか。

こう考える新入社員に、先輩たちは「一生の面倒を見てくれるのだから、我慢をして自分の価値観のほうを、会社に合わせて」と説得したものだ。だが、今、自信をもってそういえる人は少ないだろう。なにしろ、終身雇用制そのものが、土台から揺らいでいる。

③この制度は、会社にとっても、従業員にとっても、つごうがいい。定年まで勤められ、年功制で給与が年々上がるので「うちの会社」意識が高まる。このため、全社一丸となってライバル企業との激しい競争にのぞめる。ただ、これによって会社べったり人間を生み、社会に弊害をもたらしたことも、否定できない。

いうまでもなく、これは、企業が成長を続けることを前提にしている。企業規模が拡大できないと、賃金を増やせないし、管理職ポストも用意できないからだ。

日本経済が成熟期に入ったことで、この前提にひびが入った。かつてのような高度成長が見込めない状況の下で、この制度を維持すれば、人件費などのコスト増によって企業業績が悪化する。固定費削減のためにも、④なんらかの手直しをしないと、経営難に追い込まれるというわけだ。

制度の破綻(はたん)は、中間管理職の肩たたきという形で具体化している。定年まで勤められると思っていたのに、ある日突然通告を受けた人たちは「約束違反だ」と、⑤やりきれない気持ちに違いない。

雇用の安定こそ、経営者の最優先課題であるはずだ。転職が難しい中高年の心情に思いをいたすなら、経営者はまず、業績悪化の責任を明確にすべきだろう。そうでないと、従業員の反発を買うだけでなく、企業イメージの低下を招く。

めったなことでは辞めさせられず、年々賃金が上昇し、いず

れほどほどのポストにつけるため、サラリーマンは安心して住宅ローンが組めたし、子どもの教育なども考えることができた。終身雇用制が崩れれば、人生設計を描けず、ひいては社会の安定感も損なわれる。

とはいえ、企業の年齢構成が中年層に偏りつつあることや、若い世代が個人の生活までも会社に縛られることに拒否反応を示したことを考えあわせると、いずれ⑥その姿を変えていくに違いない。

それぞれの企業は、多かれ少なかれ、能力主義の色彩の強い年俸制の導入などで、年功序列賃金の手直しを図っていかざるをえまい、その一方で、核となる人材の定着化を主軸に、転職者の受け入れと退職者の促進をはかるという「半身雇用制」の形をとるのではないか。

新入社員のみなさんが、それぞれ自分の能力と個性に合った仕事を見つけられることを期待したい。しかし、そうでなくても、絶えず自分の能力を高めるための努力を怠ってはなるまい。

⑦転職も辞さずの心構えで、やりがいのある仕事を求めて自己を磨いておれば、どんな厳しい状況にも対応できるはずだ。

問1 (①)「会社人」とは、どういう意味で使われていますか。一番いい文を選びなさい。

- 1 会社での日々に思いをはせている人のこと
- 2 会社に入り人生の大部分を会社で過ごす人のこと
- 3 価値観がすべて会社と同じになっている人のこと
- 4 自信を持って新入社員を説得できる人のこと

問2 (②)「内心は不安に違いない」とあるが、何が不安なのか。

- 1 就職戦線が厳しいこと
- 2 不況の下での会社の将来
- 3 会社が自分に適しているか
- 4 会社が一生面倒見てくれるか

問3 (③)「この制度は、会社にとっても、従業員にとっても、つごうがいい」とあるが、次のうちで会社にとって都合のいいことはどれか。

- 1 定年まで勤められること。
- 2 給料が年々上がること
- 3 「うちの会社」意識が高まること

4 社会に弊害をもたらすこと

問4 (④)「なんらかの手直し」として、経営難の企業がどんなことを行ったと書いてありますか。

- 1 中間管理職を辞めさせた。
- 2 雇用を安定させた。
- 3 業績悪化の責任を明確にした。
- 4 従業員の反発を買った。

問5 終身雇用制が有効に働くのは、その国の経済がどんな状態になっているときか。

- 1 不況の時
- 2 成熟期
- 3 高度成長期
- 4 固定費削減期

問6 (⑤)「やり切れない気持ち」というのは具体的にどんな気持ちか。

- 1 信じていた会社に裏切られて、やる気をなくしている。
- 2 今まで会社のことを信じていたので、なげき悲しんでいる。
- 3 信じていた会社に裏切られて、怒るに怒れないでいる。
- 4 今まで会社のことを信じていたので、あきらめ切れないでいる。

問7 (⑥)「その姿を変えていくにちがいない」とあるが、どのような雇用制度に変わっていくと言っているか。

- 1 めったなことでは辞めさせられない安定した雇用制度。
- 2 年俸制を取り入れて能力主義を強く打ち出した雇用制度。
- 3 年功序列の賃金体系を直して退職者の促進を図った雇用制度。
- 4 能力主義を取り入れ、転職者を受け入れやすくした雇用制度。

問8 (⑦)「転職も辞さずの心構え」とあるが、そういう気持ちを持って新入社員にどんなことをしなさいといっていますか。

- 1 まず自分の能力を高める努力をし、やりがいのある仕事を捜しなさい。
- 2 自分に合った職業に出会うまで、転職を恐れず繰り返しなさい。
- 3 自己の能力と個性に合った仕事に出会うことに期待を持

ち続けなさい。

第 16 頁

4 自己を磨いて、どんな厳しい状況にも対応しなさい。

IV. 翻译 (26 点)

次の文を中国語に訳しなさい。

一、(13 点)

親の威厳

先日、ある喫茶店で、いささかがっかりさせられる親子連れを見つけました。ウェイトレスが注文を聞いて、それに若い母親と小さな女の子が何かをたのんだらしいのですが、子どもの言った注文が、ウェイトレスには聞きとれなかったようなのです。もう一度尋ねても、子どもは答えようとしません。「一度言ったから、もう言わない」などと、子どもはグダをこねています。ウェイトレスは困ったあげく、母親の顔を見ます。私は母親がどんな叱り方をするかと、興味を持って見ていました。

ところが、母親は突然、わが子に詫び始めたのです。あなたの注文を私もよく聞いていなかったから申しわけないと言い、「このとおり頭を下げるからもう一度だけ言って」と懇願したのにはあきれました。よく聞こえないような話し方の非を指摘するどころか、あたかもウェイトレスが悪かったような口ぶりなのです。結局なだめすかしてジュースをたのんだようでした。

説得の技術のテクニックとして、詫びたり、自分を卑下してみせて、相手を心理的に優位に立たせるというのがあります。これは、相手を対立するものとして、とにかく緊密な関係をつくろうという手法ですが、親が子どもにむやみに詫びるのは、子どもを対立者とみなし、なんとか仲間意識をつくりたいという深層心理の表われと見ることもできます。これでは、子どもはつけあがるだけです。

二、(13 点)

見せかけの安売り

見せかけの「肉の安売り」をしていた。と公正取引委員会が、大手をふくむスーパーを摘発した。ほとんど実態のない「通常価格」と、それを「値引きした」実売価格を並べて書き、お客の錯覚を誘っていたというのだ。

なんとなく連想したのが、やはり安売りの際の「卵1パック=98円」「食パン=108円」「マヨネーズ=258円」「コシヒカリ5キロ=2180円」といった価格である。たいてい「8」がからむ。炊飯器など高い品の値引きでも「1万5800円」のように「8」がからみが大半だ。なぜだろう。

専門家に聞き、関係のありそうな本を繰った。とりあえずの答えは書けそう。どうやら「心理的価格づけ」ということらしい。「100円」の値段をつけるよりも「98円」とした方が、2円の差であっても買う側の心理的抵抗感が少なく、それだけ売れ行きがいい。実験でも証明済みだという。

この場合、「98円」に対する「100円」、「2180円」に対する「2200円」などの大台（区切り）の数字が、重要な役割を務めている。それを超えると、急に抵抗感が増す数字なのだ。同じようなことは年齢の場合にもみられる、と専門書の一つにあった。市場調査などで女性に年齢を記入してもらうと、「40歳」の人がきわめて少なく、39歳や38歳がひどく多いのだそうだ。

では、なぜ「8」がらみなのか。日本人が好む数字であること。「9」では、かえって中途半端で小細工した感じを与えること。そんなふうに説明されるが、もうひとつははっきりしない。それより、一つ疑問がある。値引きした価格がほぼ例外なく「8」がらみなのは、やはり少々ヘンではないか。

商品によって、事情はいろいろ違うはずなのに。これも一種の見せかけ。「誠実に」値引きしたら、一体いくら安くなるのだろうか。（1999年3月17日「朝日新聞」より）